



月2回刊=1505号  
2018年3月30日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジロー印刷企画 一部 40円 組合員購読料は組合費に含む

### 公務員連絡会 人事院交渉

# 賃上げ・労働条件改善の好循環を

## 人事院総裁交渉での前進回答求める

3月15日、公務員連絡会 は、18春闘要求交渉のヤマ 場となる人事院千葉給与局



▲2018春闘「3.15中央決起集会」

長・森永職員福祉局長と交渉を行った。  
〔賃金・諸手当改善〕

### 〔賃金・諸手当改善〕

給与局長は、民間春闘での大手集中回答で5年連続の賃上げ状況を認識しているとしつつ、経営側の回答・妥結を注視していくとの姿勢にとどまった。また、昨年の人勤からの継続課題であった住居手当の引き上げに関しては、平均給与額に占める住居手当額も増加しているとの認識を示しつつ、民間の状況等を踏まえて必要な検討を行うとした。交渉団から民間春闘での賃上げの好循環をふまえた賃上げ実現を強く求めた。なお、民間給与実態調査の比較企業規模については、現行どおり50人以上の企業規模とするとした。

### 〔定年延長〕

2月16日に政府が人事院に対して定年延長の制度設計の具体化を求めていることに関し、給与局長は、職員団体の意見を踏まえて対応するとの基本姿勢を示し、現段階では時期は言えないとしながらも、今年の勧告時が注目されるという意識で検討するとした。

### 〔長時間労働是正〕

公務における長時間労働は是正が重要としながらも、

# 退任役員 紹介



副中央執行委員長  
今野 善文 (花巻支部)

3月31日をもって3人の本部役員が退任されました。それぞれの立場で県職労運



中央執行委員  
右京 隆二 (盛岡支部)

動を担っていただき、多くの成果を勝ち取ることができました。



会計監事  
播磨 基州 (盛岡支部)

長い間ありがとうございました。

## 保障のことなら 組合へ

組合員と家族の安心をバックアップ。生命・医療保障、退職後の保障から住宅や自動車の損害まで、生活全般の保障を用意しています。



自治労共済本部

## 久慈市長選 遠藤じょうじ氏再選果たす 4年間の実績が評価

3月11日告示・18日投開票の久慈市長選挙では、県職労推薦・遠藤譲一さん(無所属・現1期・64歳・岩手県職員退職者会久慈支部長)が、相手候補に2千票を上



▲喜びの遠藤さん(中央)

回る支持を獲得し、激戦を制し、見事2期目の当選を果たした。

遠藤さんは「女性にやさしい、子供たちに誇れる笑顔日本一の久慈をめざす」

## 社会への憲法理念の浸透が先だ

### 「活憲セミナー」で佐高さん訴える

3月17日、活憲いわての館で開催された。講師として評論家・佐高信さんが「嵐の中の憲法」

題で森友学園問題が佳境を迎えている現状を一層追及し安倍政権の退陣に全力を

挙げる必要があることを訴えた。そのうえで、安倍首相の憲法観は国民よりも国家を重視し戦前回帰の思想であることに加え、歴代の



▲「活憲セミナー」で熱弁をふるう佐高氏

トークで安倍政権の改憲に警鐘を鳴らした。佐高さんは、冒頭、公文書改ざん問

し、現行憲法を変えたいとしているが、安倍政権のよ

重要であると訴えた。



ひたすらに ひたむきに 竹花くにひこ (社民党公認・現・66歳)

宮古市議選 予定候補者 竹花くにひこ  
4月15日告示・22日投開票の宮古市議会議員選挙では、自治労組織内・竹花邦彦さんを推薦決定し、組合員・御家族への働きかけをすすめていきます。

## 第五世代

今年は大雪だったが、気温が緩み、雪が解けてきた。我が家の畑の雪も解けフキノトウが一面に出て、さっそく天ぷらで春の味覚を楽しんだ。一方でスギ花粉の季節も始まり、目がかゆい、鼻水に苦労する人もある。寒季節の移り変わりを感じることも、生活の一部だ。今年も大学・高校を卒業し、新社会人・進学へと、新生活の引越しが今年はいつもと違う状況がある。引越し業者者に申し込みをする2月末までの申し込みまでしか、引越しの確約ができないという返事だ。マスクでも引越し業者者のドライバー不足が報道される中、県内でも影響が出ている。異動で転居が必要な人は自分の力ではどうにもならないことで、大変なことだと思ふ。異動は、この社会情勢を配慮した異動の対応を望みたい。▼私たちの業務量は社会情勢の変化で変わる。マイナンバー制度に対する業務も増えた。一方で当局の情勢変化に対する対応は実感できない。技術職・専門職の欠員解消はできず、イクボス宣言でも子育て世代の働き方がどう楽に変わったのか。季節の移り変わりのように働き方が楽になった改善を求める。

# 退職者の皆さんありがとうございました

3月となり、今年も多くの先輩、仲間の皆さんが職場を去られます。

長い年月、県勢発展のため第一線で働いてこられた先輩の皆さんには、県職労の権利の拡大や組織強化のため支部や分会、いろいろの場面で運動を支えていただきました。心から感謝申し上げます。

組合員、準組合員の皆さんのお名前を掲載させていただきます(3月22日時点)。

(順不同・敬称略。なお、掲載を希望しないと申し出のあった方は掲載しておりません)

### ▼県庁支部

- 目時 敬子(国 際 指 導 課 室)
- 及川 健一(団 体 指 導 課 室)
- 志田 悟(漁 港 漁 村 課)
- 新屋 浩二(出 納 事 務 局)
- 村上 博和(監 査 委 員 事 務 局)
- 清水 道彦(海 区 漁 業 調 整 委 員 会 事 務 局)
- 中村 武志(管 財 課 ・ 車 庫)
- 布佐 明彦(選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局)
- 桐田 教男(労 働 委 員 会 事 務 局)
- ▼盛岡支部
- 高橋 友三(盛岡広域振興局保健福祉環境部)
- 瀬川 俊夫(盛岡広域振興局保健福祉環境部)
- 日戸 秀正(盛岡広域振興局林務部)
- 宮川 清志(盛岡広域振興局土木部)
- 佐藤 康伸(盛岡広域振興局土木部)
- 有賀 康弘(岩手県工業技術センター)
- 小林 雄二(岩手県農業研究センター畜産研究所)
- 千葉 良(岩手県農業研究センター畜産研究所)
- 竹田 政則(岩手県農業研究センター畜産研究所)
- 高橋 昌子(八幡平農業改良普及センター)
- 坂ノ上 富雄(岩手県土木センター)
- 佐々木 茂央(岩手県食肉衛生検査所)
- 三浦 公嗣(岩手県立産業技術短期大学校)
- 谷地 誠(岩手県立産業技術短期大学校)
- 橋本 政樹(盛岡広域振興局保健福祉環境部)
- 池永 大地(盛岡広域振興局土木部)
- 米沢 健治(岩手県農業研究センター畜産研究所)
- 築田 正行(岩手県食肉衛生検査所)
- 三上 貴文(盛岡広域振興局保健福祉環境部)

### 菅野 章(盛岡広域振興局農政部農村整備室)

- ▼花巻支部
- 阿部 裕(花巻農林振興センター)
- 高橋 一憲(花巻県税センター)
- 小田原 和弘(遠野農林振興センター)
- 伊藤 公成(遠野普及サブセンター)
- ▼北上支部
- 沼田 聡(中央農業改良普及センター)
- 小川 勝弘(岩手県立農業大学校)
- 千葉 和弘(岩手県農業研究センター)
- 鈴木 茂(岩手県農業研究センター)
- 阿部 和夫(岩手県農業研究センター)
- 皆川 光則(盛岡広域振興局保健福祉環境部北上市駐在)

### ▼胆江支部

- 畑 中正則(胆南広域振興局県税課)
- 藤尾 修(胆南広域振興局保健福祉環境部)
- 皆上 和弘(奥州農業改良普及センター)
- 泉川 澄男(奥州農業改良普及センター)
- 宮 卓司(岩手県立産業技術短期大学校水沢校)
- ▼一関支部
- 千葉 政幸(一 関 県 税 センター)
- 阿部 信治(一 関 農 林 振 興 センター)
- 佐藤 茂(一 関 農 村 整 備 センター)
- 吉田 政継(千 厩 土 木 センター)
- 鈴木 貞志郎(一 関 土 木 センター)
- 荒屋 良一(一 関 審 査 指 導 監)
- 佐藤 正昭(一 関 農 業 改 良 普 及 センター)
- 佐藤 伸一(一 関 児 童 相 談 所)
- 中村 久美子(一 関 農 業 改 良 普 及 センター)
- ▼気仙支部
- 岩 測 幸 彦(大 船 渡 地 域 振 興 センター)
- 花 崎 洋 子(大 船 渡 保 健 福 祉 環 境 センター)
- ▼釜石支部
- 後 藤 登(沿 岸 広 域 振 興 局 土 木 部)
- 煙 山 彰(岩 手 県 水 産 技 術 センター)
- 高橋 宏樹(岩 手 県 漁 業 取 締 事 務 所)
- 三浦 收(岩 手 県 漁 業 取 締 事 務 所)
- 山崎 久雄(水 産 技 術 センター)
- ▼宮古支部
- 佐々木 康幸(宮 古 農 林 振 興 センター)
- 笠 間 良 之(宮 古 地 域 振 興 センター)
- 五十嵐 亮(人 事 課 ・ 宮 古 市 派 遣)

### ▼久慈支部

- 大和田 一郎(久 慈 審 査 指 導 監)
- 野場 英義(県 北 広 域 振 興 局 林 務 部)
- 竹澤 秀則(県 北 広 域 振 興 局 農 政 部)
- 芝 俊 光(県 北 広 域 振 興 局 水 産 部)

### ▼二戸支部

- 吉田 勝(二 戸 土 木 センター)
- 有馬 秀人(岩 手 県 立 二 戸 高 等 技 術 専 門 校)
- 日高 和弥(二 戸 保 健 福 祉 環 境 センター)
- ▼本 部
- 野中 広治(文 化 ス ポー ツ 部 企 画 室)

## くみあいに入ろう!! 一声かけて加入促進を

3月、各支部では新採用加入促進に向けて対策会議を開催した。3月20日、宮古支部では分会長・支部青年婦人部役員の合同対策会議を開催し、20人が参加した。冒頭、本部・小澤書記長から4月初頭(当局主催の新採用職員研修前)での各職場の先輩組合員からの加入の声掛け、組合の必要性と昨今の運動成果、各種共済制度等のメリットなどについて、本部作成の先輩組合員用マニュアルで説明

その後、意見交換を行った。組合員からは「土木センターに新採用職員が配置される。新採用の反応を見ながら、どのような視点で話をするかマニュアルを参考にしたい」、「自分はマイカー共済が利用したいので加入したい。普段の会話からニーズをつかみ、アプローチをしていく」、「自分はなぜ組合が必要か納得してから入った。労働基本権や組合運動の獲得成果を理解するための新採用への説明も重要と思う」との意見が挙がり、本部から「アプローチ手法は一人ひとり違う。新採用がどのようなニーズを持っているかという視点であらゆる機会に組合をアピールして欲しい」と要請し、伊藤支部長も「声掛けをして加入するきっかけをしっかりと作ろう」と訴えた。声掛けに当たり押さえるポイントは次のとおり。詳細は、先輩組合員用マニュアルをご覧ください(支部書記局でお配りします)。



宮古支部の加入対策会議の様子

【組合の意義とは】  
組合は職員の勤務労働条件を改善するための知事から認められた組織。正式に意見を伝え、改善を求めることができる(個人だけでは改善できない)。  
一人一人を守る(各種相談、人事対策等)。  
【運動成果を押しさよう】  
・初任給引上げ(4年連続)  
・通勤手当等の諸手当改善  
・新採用者の赴任旅費改善  
(採用直前の居所から移動料の半額を支給)  
・休暇制度の拡充(看護休暇の対象者拡大、夏季休暇5日に拡充)  
【共済制度等のメリット】  
・お得な掛金のじちろう共済(セット共済・マイカー共済(弁護士費用特約あり))  
・労働金庫(ローン利用)  
・県職労顧問弁護士の相談

新採用職員が配属されたら、職場で

「組合は必要だから、加入するものだよ。組合に加入することは、県民のためにもつながっているんだよ。」

と言って、加入届に必要事項を記入してもらいましょう。

これ、県職員の組合の加入届だよ。組合は必要だから県職員でもつくってるよ。記入したら私に提出してね。今日中でいいよ!

細かいことは、後で職場のみんなでお話してね。今日から心配しなくていいよ。



新採用職員



先輩組合員